

馬事公苑界わいをUD散歩

—東京2020大会に向けたUD整備等をまちなかで見つけよう—
馬事公苑は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の、馬術競技の会場になっています。メインのゲートはけやき広場です。このページでは、生まれ変わったまちの見どころをご紹介します。

けやき広場の ばていけい 馬蹄形ベンチ



1939年にこの広場にけやきを植樹して以降、80年間の出来事をベンチの板80枚に記録した記念碑でもあり、けやき広場の新しい目印、拠点サインともなっています。

商店街にある交差点の段差解消等



車椅子使用者も通行しやすい道路へ整備を行いました。

路面サイン

路面には馬事公苑の方向に蹄鉄（ていてつ）を埋め込んで、まるで馬が馬事公苑まで案内するように、路面サインを設置しました。





案内サイン・誘導サインの設置

用賀駅から馬事公苑までの案内サイン・誘導サインを新たに設置しました。





▲案内サイン ▲案内サイン ▲誘導サイン

都立砧公園 みんなのひろば



▲みんなのサークルツリー

みんなのひろば



用賀中
用賀プロムナード (いらか道)

多機能トイレと乳幼児連れに配慮したトイレを整備

最寄り駅の用賀駅構内には、新たに多機能トイレと乳幼児連れに配慮したトイレが整備され、多様な人のお出掛けを支えています。





▲多機能トイレ ▲多機能トイレ ▲乳幼児連れに配慮したトイレ